



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」
～地域と共に生きる長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

2015年 新春賀詞交歓会 開催!!

日時：1月30日(金) 午後6時 会場：サンプリエール



第1部「記念講演」講師には、長崎県 里見副知事をお迎えして開催致しました。

ビジョン委員長の山口さんの司会で、先の経営フォーラム実行委員長として尽力された山口憲男さんによる元気なスローガン唱和に始まり、松尾代表理事による年頭挨拶の後、里見副知事に「輝く長崎県の実現に向けて～地方創生 長崎県～」というテーマでご講演いただきました。

里見副知事からは、4項目のテーマに沿って、具体的分析データ等を基に、長崎県が直面する問題点と対策など、平成27年度以降の取組みについて、詳しく示唆に富んだお話を拝聴することが出来ました。

講演全般を通して副知事の言葉を借りれば、長崎県の様々な取組みに、行政と民間の経済との間が目詰すること無く、県民・企業・団体等の連携と協働が重要

とのご指摘でした。

今年も長崎県を取り巻く経済環境は厳しい様ですが、長崎県の今後の重点施策の実現を期待すると共に、私ども長崎同友会の今後の発展に大変有意義な講演だったと思います。

大きな4項目は次の通りです。

- I 人口の現状と将来予測
- II 経済・雇用情勢
- III まち・ひと・しごと創生
- IV 重点施策の推進

金井副代表理事による謝辞の直後、急遽駆けつけて下さった参議院議員 金子原二郎様からご挨拶を賜り、第1部を無事に終了しました。

第2部「懇親交流会」は、情報広報委員長の永末さ



んに司会が引き継がれ、副代表理事 辻村による開会挨拶の後、岩永事務局員による34名ものご来賓紹介と続きました。

今回、初?であろう着席での懇親交流会。会員は、事前の厳正なる「くじ引き」によってテーブルが決まっていたのですが、なんと、来賓の皆様にはそ

目次

2015年 新春賀詞交歓会 開催報告	1	入会・復会・交代会員紹介	12
1月例会報告	2	HP相互リンク募集	13
第3回中同協新春幹事会 参加報告	8	3月例会案内	14
長崎県との意見交換会 開催報告	9	理事会議事録 抜粋	15
会員活躍	10	会員消息・会員数	16
事務局企業訪問	11		

の場でくじを引いていただきました。

緊張も恒例の「握手タイム」により吹っ飛び、津軽三味線石井流 石井秀歩様・杏歩様・花歩様による「祝奏」に心を揺さぶられ、長崎新聞社代表取締役社長 才木邦夫様の乾杯のご発声で懇親交流会がスタートしました。

各テーブル2名の来賓を囲み、今後の長崎についての意見交換も活発に行われていた様です。また、会員同士も初めてという顔合わせも多く、立食とは違った雰囲気の中で和やかで有意義な一時を過ごすことが出来たと好評でした。

途中、石井流のお三方の再登場に会場が沸き、「支部・地区会アピール」では、会内はもちろん来賓の皆様にも特色ある各々の活動をアピールできたと思います。

最後の仲間づくり委員会による「増強ウィーク」アピールでは、池野北松浦支部長への「表彰」、当日参加

いただいたオブザーバー3名全員による「入会表明」があり、本当にすばらしい新年のスタートが切れました。

様々な役を引き受けて下さった皆様 本当にありがとうございました。

西村専務理事による中締めでお開きとなりました。皆さん、本年もよろしくお願い致します。

(文責 辻村 栄藏)



長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	1月28日(水) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	家電王子は語る!!「Never give up!」
報 告 者	(有)エム・オー長崎 取締役 小川 久郎 会員(長崎支部 出島地区会)



今月の例会は有限会社エム・オー長崎の取締役の小川久郎さんに報告していただきました。

小川さんは学校を卒業した後、コンピューター関係の仕事をしていましたが、お母様が亡くなられた事でお父様や家族を支えていきたいという思いと、転勤をすることによって成長してきた経験から、環境を変えることが更なる成長に繋がるという思いから家業である現在の会社に入社しました

そこで、会社の仕事のやり方があまりにアナログであることに驚き、ビジネススタイルを変えていくことに取り組みました。具体的には①問題解決型への転換②顧客ニーズに合った取扱商品の拡大による新規顧客の開拓③作業のデジタル化④営業活動のIT化(特にフェイスブックの活用)といった取り組みで成果を上

げていきました。

また、フェイスブックでのやりとりがきっかけで「家電王子」という愛称が定着しました。

順調に見えた小川さんでしたが、落とし穴が待ちっていました。大量発注の仕事を受け納品したものの、実は相手が詐欺の常習犯で代金を回収できないという事態に見舞われました。このような苦境の中、支えとなったのは社長であるお父様や奥様をはじめとするご家族の励ましの言葉だったそうです。

その後立ち直った小川さんは自分のビジネススタイルを継承できる人材の必要性を感じ、新卒者の採用を決断するのですが、その際も社長が自分の給料を削って新卒者の給料に充てるという形で新卒者採用の後押しをしてくれたそうです。

このように社員教育にも力を入れている小川さんですが、自社の今後の課題として、リピート率の向上、量販店との競合、ビジネスパートナーの構築、トラブル時の迅速な対応、等を挙げていました。

出席者からはフェイスブックを活用して自分を発信している小川さんの手法や、大きな苦境から立ち直った強さに感心する意見が出ていました。

(文責 北川 亮)



長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	1月22日(木) 午後6時30分
会 場	メルカつきまち 5 階ホール
テ ー マ	人気(ひとけ)のあるサービスで年商30億を目指す！ ～繁栄企業づくりは業務店様の繁盛と満足から～
報 告 者	(有)酒の一斗 代表取締役 池野 普一 会員(北松浦支部)



新年最初の例会は池野さんが推薦する日本酒と酒の肴をつまみながらの初めての試みで進行し、楽しく美味しく勉強になる例会となりました。

池野さんが経営する「有限会社 酒の一斗」は昭和3年に「池野酒店」として創業され、平戸地域では最も古い酒屋です。現在では販売店を11店舗まで展開し、業務卸800店との取引をしながら介護福祉事業も手掛けており年商20億円を売上げています。しかし、ここまで発展するまでの道のりは波乱万丈の人生でした。

松浦火力発電所の建設をビジネスチャンスと判断すると、建設就労者向けに400名収容の宿泊施設を建てて大きな利益と資金を得ます。そこで長崎市内の繁華街でスロット店をオープンするものの経営破たん、4000万円もの負債を背負ってしまうのです。借金の返済の為に漁師をはじめ様々な仕事を経験し我武者羅に働いたそうです。そんな頃、家業である「池野酒店」



を引継ぎますが、その経営も年商2500万円、利益率23%に対して売掛回収不能金600万円と最悪な状況だったとのことです。

私は、例会シミュレーションに立ち会うまで「酒の一斗」という店はディスカウント系の量販店だと思っていました。しかし会社を訪問して報告を聴くと直ぐに自分の考えが間違っていた事に気がきました。「酒の一斗」では商品を潰すのではなくコストを削る「仕組づくり」、人気(ひとけ)のあるサービスが伝わる「店舗づくり」、人気のある人や商品が生きているチラシで「繁盛づくり」を徹底して実践しています。また、酒流サービス、月間企画サービス、地域商品開発サービス、まつりサービス、スポーツ交流サービス、地産地消サービスなど顧客に様々なサービスを提供しています。

私は、これらの一貫したシステムをつくり実践したことが、年商2500万円の酒屋を年商20億円まで成長させられた秘訣なのだと思います。経営者の本来の仕事は何であるか？それは会社の環境を整える「システムづくり」であると感じ今後の経営のヒントを教えられた気がします。

(文責 山口 憲男)



大村支部 例会報告

日 時	1月15日(木) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
内 容	「慶祝例会」

大村支部の2015年は毎年恒例の新年慶祝例会で幕開けとなりました。

会員それぞれが、色紙に今年の抱負をしたためて開会した今例会には、いつものようなピリピリと張り詰めた空気はなく、大変和やかな雰囲気でした。たまた



はこういう例会もいいなと思いました。

ひとしきり皆で親睦を深め合ったあと、各委員会の代表者その他司会者がランダムに指名する数名が、色紙に認めた今年の抱負を発表しました。皆さん明確な抱負を持ち、それを理路整然と、又はユーモラスに発表される姿は、さすが同友会の会員（“節酒”と昨年と同じことを書いた私以外の方）はレベルが高い、と

感じました。

最後は、諫早支部の杉本委員長を先頭にした、県の仲間づくり委員会増強キャラバンで締めくくられました。オブザーバーの方の入会宣言もあり、やはり最後にはビシッと引き締まった例会となりました。

（文責 西 隆治）

諫早支部 例会報告

日 時	1月27日(火) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	同友会3つの目的に向かって ～誇りと喜びを感じ取れる企業をつくらう～
報 告 者	(株)石橋工業 代表取締役 石橋 ゆかり 会員



2015年、今年初めての例会報告者は、(株)石橋工業というクレーンリースの代表取締役、石橋ゆかりさん。

男性ばかりの会社と思いきや、笑顔の素敵な明るい女性が代表をされていることに、初対面の時は驚きましたが、会社を継承されてまもなく10年とのこと。9年ほど前に会社代表をされていた御主人が、2月という多忙な年度末繁忙期に他界され右も左もわからないまま突然、主婦業から代表取締役への就任。代表就任したての頃は、男性ばかりの社員さんたちに気持ち良く仕事してもらおう環境を作ろうと、女性ならではの想いでコーヒーを入れたりおでんなどを手作りして、「お疲れ様」と出したりしたが、なぜだかブーイングの嵐…。いくら社員とは言え、前社長から、女性の私に変わり、「自分達がいないと、女性社長では何も出来ないやろう！」等と陰口を口にされているのを知り、人間不信に陥った時もあったそうです。

また、子供からも『会社やめてもいいんじゃない？』など言われ、自らも全てを諦めてしまおうかとも思った事も。もし、主人亡き後に自分が会社を辞めたら、自分たち家族もだが、社員やその家族はいったいどうなるんだろうか？自分だけの都合だけで会社をたたむ



ことは出来ないと、会社を続けることを決意。

そんな苦悩している中で出逢ったのが、この同友会。今まで苦手な事は避けていたが、会社の為に社員には言えない事も、社長ばかりの勉強会に行くことでアドバイスをいただいたり、悩み事が解決できるのではと出席を決意。一人で悩むより、同友会に行けば、何とかなさ！の思いで、諫早支部は勿論ですが、他支部例会などにも忙しい時間をやり繰りして積極的に休みなく参加し続けておられます。

会社が大変な時にでも、人のお世話をするのが大好きだったご主人。でも、陰で支える経営者の家族は大変で、泣いていた時もあったそうです。今でも男性ばかりの社員を女性ならではの人間性を活かし、御主人への感謝を常に心に秘め、この同友会で会社の強み、弱みを具体的に分析し、自社に何をどう活かしてゆくのか数々の諸問題を解決しながら着実に業績を積み重ねていました。

『利益を確保し、社員とその家族を幸せにする会社』石橋さんの言葉を聞き、会社を承継して早10年…。以前は10年ひと昔、しかし、あっという間に10年は過ぎていくと思いますし、今の時代には3年ひと昔とも言えると思います。

目まぐるしく変化してゆくビジネス環境に於いても、『お父さんの会社、お母さんの会社で将来働きたい』と子供に言われるような会社、職場環境作りに励まなければと思いました。

（文責 井原 清貴）

島原支部 例会報告

日 時	1月21日(水) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	若手経営者体験報告 第6弾 学生で突然経営者になって ～ 学生から今までと未来への希望 ～
報 告 者	(有)サンエイフーズ山口 代表取締役 山口 武啓 会員



今回の報告は島原支部会員で「島原納豆みそ」や「長崎名物豚角煮カレー」でお馴染みの、(有)サンエイフーズ山口 代表取締役社長山口さんにご報告いただきました。ご自身が学生から今までやってこられた道のりと、これからの展望について話されました。

まず私が一番驚きだったのが、山口さんが大学3年生当時にお父様（創業者）が病で亡くなられて、学生でありながら急遽家業に就き取締役就任されたことです。ご自身は実家と会社の為と思いご決断をされたとのこと。大学4年生時には仕事をしながらの為、長崎と東京を何度も往復されたそうです。

大学卒業から現在に至るまでには、代表取締役社長となり会社の発展の為に、事業である卸業・企画販売に力を注ぎ、製造元と協力してOEM製造、PB商品の販売戦略を広げていき、売上げも落とすことなく、新しい商品の開発（みそ・しょうゆパウダー）や新しい販路を広げていらっしゃいます。しかし、過去には度重なる不景気のせいで常連の製造元業者が2度にわたり倒産する、また他にも販売先からの仕込み味噌のクレームの件、自社商品の全国系列のTV放映された事によるトラブルなど苦労話もあり、社長としての試練を乗り越えてこられました。

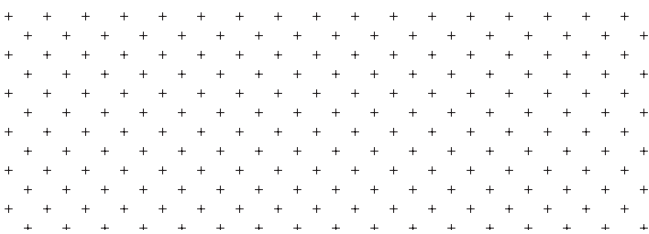
山口さんが経営されてきた中で取引先の「吉田屋」様との特別なエピソードを一つ話されました。吉田屋社長様と山口さんのお父様とは古くから取引関係にあり、昔一緒に食事をした間柄だったそうです。その息子さんである（現 山口社長）とも親しく付き合い、お互い助け合える関係は、お父様の縁があってこそだと話されていました。山口さんは亡きお父様のおかげで自分の商売ができていのだと改めて考えており、旧来からの取引先様とのご関係を一層大事に思うとおっしゃっていました。

今後の事業展開については卸販売事業以外にも海外展開戦略、F C店舗加盟、食品の宅配サービスなど取

り組んでいき、報告の最後には、「父の築いてきた伝統を守り、社員と共に、新しい関係を作り、新しいモノを開発する」を目標に掲げて、情熱的な報告を終えました。

また例会の最後には、他支部より杉本仲間づくり委員長を筆頭に他5名の方にご参加いただき、2月の『増強ウィーク』の呼び掛けキャラバンと仲間づくり紙芝居の披露にて島原支部例会と仲間づくり活動をたいへん盛り上げていただきました。

（文責 楠田 喜隆）



投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

☐掲載／情報広報委員会にて選考

☐投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



佐世保支部 例会報告

日 時	1月27日(火)
会 場	魚魚の宿
内 容	慶祝例会



恒例の慶祝例会を開催しました。今年は古希1名、還暦5名及び厄入り8名の合計14名が慶祝対象者に該当し、当日は62名（うち、慶祝対象者12名）もの参加となり、例年以上の参加者となりました。

今回は支部会員の「魚魚の宿」小松屋さんの計らいにより、慶祝例会会場に神主様をお呼びして祈願を行いました。祈願の後、慶祝例会を開始しました。山領支部長のあいさつ、オブザーバーの紹介、新入会員バッジ贈呈、松尾代表理事による乾杯と続き、しばし歓談となりました。その後、慶祝対象者の紹介、県仲間づくり委員会キャラバンによる増強案内、バンド演奏と続き、立山さん及び川上さんによる中締めにより、慶祝例会は滞りなくお開きとなりました。今回の慶祝例会が滞りなくお開きできましたことは、魚魚の宿の小松屋さん、支部役員及び慶祝例会参加者の皆様のお蔭でございます。深く感謝申し上げます。

今回の慶祝例会に関しましては、祈願を慶祝例会会場で行ったことにより、慶祝例会参加者全員で祈願を見守ることができ、大変良かったと思います。又、慶祝対象者が例年より多かったこともあるかと思いますが、慶祝例会参加者がおそらく過去最高の62名だっ



たことも良かったと思います。反省点としましては、送迎バスの案内が後手に回ってしまったことです。又、数年前と比べて会員数が相当増えており、これによる支部会員の状況把握、支部例会及び支部総会の運営並びに支部予算の執行が以前と比べて難しくなっているのではないかと思いますので、よりよい支部運営が行えるよう、支部会員の皆様におかれましては、支部活動へのさらなるご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(文責 東島 誉志)



～佐世保支部 慶祝対象者の皆さん～

(敬称略)

古 希：川上 利夫さん

還 暦：川下 眞文さん・木下 正博さん

藤本 尚美さん・山本 正彦さん・横石たまきさん

厄入り：小田 雅雄さん・下古立 忠久さん

豊島 尚樹さん・東島 誉志さん

古川 健さん・松本 聖さん

渡会 祐二さん・八並 学さん

北松浦支部 例会報告

日 時	1月29日(木) 午後7時
会 場	松浦シティホテル
内 容	新年例会「新年の抱負」

今回は新年例会として開催されました。

支部会員22名、他支部、オブザーバー含め26名の出席でした。個人的な意見としましては支部会員も総勢42名となりましたし、新年第1回目の例

会ということもありましたのでもう少し多くの支部会員に参加して欲しかったです。

例会の内容としましては、まず支部長挨拶から始まり、次年度の活動方針・具体的な活動・活動計画、そして次年度の組閣とフォーラム実行委員の発表がありました。フォーラム成功に向けて支部会員一丸となり頑張りたいと思います。

つづいて参加全会員により新年の抱負が発表され、会員皆さんの意気込みを聞くことができました。

最後にオブザーバーとして参加されていた諫早支

部・杉本さん、佐世保支部・永末さん、そして北松浦支部仲間づくり委員長の井手さんによる会員増強キャンペーンとして紙芝居を踏まえ力の入った発表がありました。

後半の懇親会では、普段の例会後の懇親会とは違っ



た雰囲気様々な話で皆さんが盛り上がっていたように思います。新年一回目の例会としましては内容の良い例会となったと思います。

(文責 中村 寿弥)



五島支部 例会報告

日 時	1月20日(火) 午後6時30分
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	子供が教えてくれたこと
報 告 者	(有)五島観光タクシー 代表取締役 辻 千穂子 会員



今月は(有)五島観光タクシー代表取締役 辻千穂子さんが五島支部初報告者となり例会が開催されました。

会社は昭和32年にお父様が設立。平成4年長男誕生、平成6年次男誕生。その頃は何不自由なく生活していましたが、平成10年にお父様が脳梗塞で倒れ、左半身不随に。それから介護、仕事、家庭と大変な日々となり、心に余裕が持てなくなれたそうです。

平成11年に長男が不登校になってしまい、初めは世間体や見栄などもあり、力づくで連れて行こうとしていましたが、ある日長男から「ママは俺がいらんやろ。学校にも行けない、勉強もしない俺は死んだ方が



いいんやろ」と泣きながら言われ、辻さんはとっさに「違う。あなたが大事。生きてるだけでいいよ」と答え、それからカウンセリングや不登校の親の会、催眠療法など子供の為に足を運ばれたそうです。それからご両親が他界され、離婚、次男の不登校、社長就任。とてつもない不安と葛藤しながら日々努力された結果、子供達は現在、長男は大学4年、次男は地元で働かれています。子供達にとって自分自身が「よるべ」になった事で自立してくれたとおっしゃっていました。

同じく社員さんの「よるべ」になりたい。そしてこの五島の島を「よるべ」の島にしたい。それが辻さんの夢だそうです。まずはこの同友会からそうしてくれたらと語っていただきました。人は経験したからこそ分かる事は多いと思います。こうした苦勞をされたからこそ、今の明るく優しい辻さんがあるのだと思います。これからも同友会五島支部がみんなの「よるべ」となる様、皆で力を合わせ努力して行きたいと思います。

(文責 吉田 幸子)

青年経営者会 例会報告

日 時	1月20日(火) 午後7時
会 場	かりーによ
テ ー マ	私の履歴書
報 告 者	(有)サンレイ 取締役 飛田 精一 会員



今回は、青年経営者会の会員でもある「(有)サンレイ」取締役 飛田精一さんに報告をしていただきました。

サンレイは、業務用冷蔵庫などを中心に厨房機器や空調関連の買取、販売、メンテナンスを主に事業をされており、精一さんの父である飛田政光さんが代表取締役で、平成6年からの同友会会員ですので、ご存じの方も多いと思います。精一さんは大学卒業後、(有)サンレイに入社されましたが、出向してメーカーでの修行をされたそうです。「本当に厳しかったが、一生懸命勤務していい勉強になり、いい出会いもあり、極限の中での仕事は、ある意味自信につながりました。その時の技術で今がある」と語られました。

長崎に帰り、山口善也さんの誘いで青経に入会されました。会社では、いままでの経験とのギャップがあり、「いろいろ提案したが何も変わらなかった。自分がやらせてくれと言えなかった。覚悟が足らなかったと思う。今このような行動、思考になったのも同友会



のおかげと思う」。社内での立場上、信頼関係をつくれる喜びを感じられたそうです。

グループディスカッションは「今あなたの会社に問題点がありますか?~それにどう向き合っていますか?」というテーマで当グループは、自分が問題で、もっと頑張らないといけないという意見が多く、一方で接客を向上したいという会社の方は、違う業種でライバルを作り、飲食業の接客サービスに負けない接客術を学んでいるという意見もでました。

青経では、同じような悩みが多い中、刺激し合ったり援け合ったりして、同世代のグループとしての共感を得る事が出来ます。

親会(支部・地区会)でも様々な方との出会いがあり、吸収する事も多く、社長も同友会で学ぶことが何よりのパワーの源だとおっしゃいます。精一さんが悩んだ時は、会社の経営理念に共感し頑張れたそうです。人柄もよく皆と協力して前向きに進んでいく印象をうけました。私も負けずに頑張ろうと思いました。

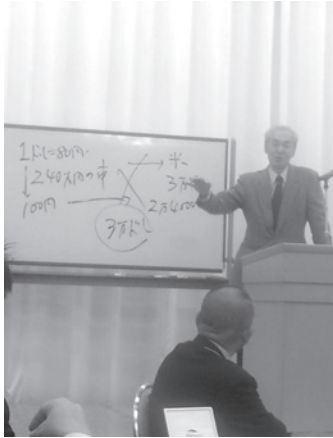
(文責 井口 達宣)

第3回中同協新春幹事会 参加報告

1月9・10日(金・土)、第3回幹事会に参加させていただきました。冒頭鋤柄会長の挨拶のあと、駒澤大学の吉田先生から「地方創生とエネルギーシフト-仕事づくり・地域づくり」というテーマで問題提起をいただきました。現在全国同友会でエネルギーシフトに関して多々学んでいますが、今回吉田先生からは「エネルギーシフトはエコノミーシフトという考えに変えていかなければならない」と強く話をいただきました。トリクルダウンはもはや20世紀の考え方であり、経済の根幹をどのようにとらえ、21世紀の観点にたった経営者を増やしていかなければならないとのことでした。ヨーロッパの事例を交え地産地消を“地消地産”にするというシフト、その他円安による大企

業の利益恩恵等、中小企業が変化する情勢の中でどのような立ち位置にあるのか、いないといけないのかという問題提起でした。その中でも金融緩和問題や国際保有残高の予測から2017年が一つの大きな転機となり、中小企業も経営に打撃を受ける可能性が高いという話もいただきました。報告を受けグループディスカッションでは再度同友会理念に沿った経営の推進、特に経営指針作成と実践を中心に全社一丸となって人口減少問題に伴う採用問題に取り組んでいくことを確認しました。アベノミクスによる景況感では地域で異なります。地域を再生、創生するためにあらためて同友会運動の推進と実践にその答えがあると確認できました。

その後中同協50周年に向けた「中同協の役割・組



「組織・行事のあり方」検討会の進捗報告がなされ、中同協規約の改定案、総会運営規定案等について全体意見交換会がなされ、出た意見を参考に再度検討会で協議を進めていくことになりました。

2日目は各議題の確認が行われ、幹事会終了後は各ブロックに分かれブ

ロック別会議。今後の九州・沖縄ブロックの行事確認や副会長推薦の議題を協議しました。

今年度様々な全国の会議、大会等に参加させていただき人を生かす経営や共同求人など言葉は知っているものの具体的な活動、運動内容などまだまだ未知数の項目に触れ、また全国の事例を知ることによって、長崎同友会でも取り組み、または今行っている活動を深めていきたいと気づくことができました。

4月には長崎同友会初の合同入社式を控えています。一つひとつの運動を会員と連携を取りながら形にし、どの活動が地域を巻き込み活性化につながることをあらためて信じ、日々の業務に生かしていきたいと思っています。

(文責 事務局 峰 圭太)

長崎県との意見交換会 開催報告

1月8日、アマランスにて長崎県産業労働部産業政策課と「長崎県中小企業・小規模企業の振興に関する条例（仮称）」素案（以下「県条例」）に対しての意見交換会を開催しました。同友会からは事務局を含め5名（宮田、西尾、小森、町田、峰）、産業労働部からは3名（中野課長、吉村参事、本村課長補佐）での開催となりました。

今回の意見交換会は、県条例制定に向けて中小企業団体からの意見を伺うという目的で産業政策課の意向にて開催されました。

開会挨拶を産業政策課中野課長よりいただき、参加者紹介の後、本村課長補佐より「長崎県中小企業・小規模企業の振興に関する条例（仮称）」素案について現状での内容を報告していただきました。

その後の意見交換では、同友会側から「県条例に関してはよく吟味され素晴らしいものになっているが、現場の事業所が意見を発信できる「振興会議」の規定がなく、場の設定を条文では唱っているが少し弱い。今後は行政と現場の事業所が共に理解し合いながら、精進していくことが大切である。現場の困りごとや申し入れ等が容易に伝えられると言う、県行政と民間事業所との意思疎通がいつでも個々にでも円滑にできることが大事である。」

という意見が出ました。

また、就職や人口減少問題に関して、双方から「高卒生の県外就職は、都会へのあこがれのみが理由だろうか。長崎県内での就職に必要な高い家賃の問題もあるのではないか。」

「都市部の企業の求人票は内容が濃く、ぜひわが社に入社していただきたいという情熱が伝わる内容のよう

だが、地方の企業の求人票はそれに及ばないようだ」「産学官連携の中でも同友会は長崎ウエスレヤン大学経済学部と就職・技術等で今後展開していく予定である。」

「人口減への対策については、県外からの移住のみならず、子どもを産み育てやすい環境を整えることが必要である。」

等の意見交換がなされました。

以上のように、県条例に対しての意見交換を通じて、現在抱えている多岐に渡る地方の課題についての意見交換ができ、有意義な会となりました。このような意見交換が今後も実施されることを約束して閉会しました。

また、今回の意見交換を受け、長崎県が活性化し、人口増加していく県になることを期待したいと思います。

(文責 政策委員長 町田 澄利)



会員活躍

長崎新聞
2月4日
賀詞交歓会

県中小企業家同友会

地方創生に 決意を新た

長崎で新春賀詞交歓会



地方創生に向けて気持ちを新たに
した新春賀詞交歓会。長崎市元船
町、平安閣サンプリール

事、「輝く長崎県の実現に
向けて」と題し、人口減少
や所得増加の県の政策など
について説明。農水産品の
「ブランド化」を例に「高
く販売するのか、知名度向
上を優先するのか、という
ように、行政と民間の間で
『言葉』の捉え方が違うこ
とがある」と指摘し、「よ
り官民でコミュニケーション
を図っていく必要がある
」と持論を述べた。

(熊本陽平)

長崎新聞
1月14日

長崎支部 浦上地区会
谷川 喜一 会員
長崎支部 浦上地区会
小林 征春 会員

県内経済展望2015

《3》

【建設業】
谷川建設
代表取締役

谷川
喜一氏



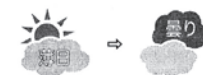
【製造業】
日本ベネックス
代表取締役社長

小林
征春氏



(設問) ①国内経済、県内経済の見通しの業績
(天気マークは昨年の実績、2015年の見通し)

③売り上げ・生産動向④経営状況⑤経営上の問題
点とその対応策



①「国内経済」横ばいの
景況下振れリスク
が多いと思う。「県内経
済」も「国内経済」の
影響を受ける。長崎県
の「国内経済」の終り
は悪化が避けられない。
②為替動向や競争環境
中心に産業機器関連事業
は競争力を維持する。
③売り上げ・生産動向④経営状況⑤経営上の問題
点とその対応策

国体終了で低迷懸念

求人倍率は高め維持

①「国内経済」横ばい
「県内経済」横ばい。
県内雇用情勢は新規求
人が増加傾向にあり、有効
求人倍率は高めを維持す
る見通し。
②消費税増税の反動減
③「変わる」について、「すまい給付
金」や住宅ローン減税効
果を生かせなかった。
④「変わらない」。リ
フォーム受注が伸びて
り、売り上げに貢献。
⑤「変わらない」。円
の見直しなどを図る。

複眼ウオッチ

長崎新聞・長崎経済研究所合同企画

長崎新聞
1月21日

長崎支部 出島地区会
中村 こずえ 会員

知的障害者も企業の戦力



積極雇用の経営者が講演 長与・時津

企業として、長崎市内を中
心に12店舗を運営するエス
・ケイ・フーズの中村こず
え取締役が講演。知的障害
者を積極雇用するようにな
ったきっかけや、どんなこ
とに気を付けているかなど
を紹介。「ゆつくり教養
ばし」で育ち、40年間の戦力になる。仕
事ぶりの誠実さに感動させ
られることもある」と指摘
した。

長崎新聞
1月21日
長崎支部 浦上地区会
井石 八千代 会員

障害福祉に玩具をどうぞ

市へ長崎商議所女性会



田上市長に目録を手渡す井石会長
(左から2人目) 長崎市役所

長崎商工会議所女性会は19日、長崎市障害福祉センターに、木製のまごっこセットなどの玩具(10万6千円相当)を贈った。

女性会は1994年から毎年、社会福祉活動の一助にと、会員からの募金を充てて寄贈を続けている。

井石八千代会長ら役員4人が市役所を訪問。井石会長は「日々の活動に役立ててほしい」とあいさつし、田上市長は「毎年、喜ばれるものをいただいている。(遊びで)心の成長につながるそう」とお礼を述べた。
(山口紗佳)

事務局企業訪問 ～長崎の活性化をめざして～

今回は、長崎支部出島地区会、また青年経営者会でもご活躍中のエース出版長崎(株) 井口達宣さんにお話を伺いました。

エース出版(株)は、会長であるお父様が設立された会社です。27年前熊本で設立(現在は井口さんのお兄様が社長)し、観光情報誌の無料配布をスタート。

2007年、長崎でエース出版長崎(株)設立と同時に井口さんが社長に就任されました。

現在、エース出版長崎(株)は、下記の各誌を年間1,000,000冊以上刊行されています。

<観光情報誌>

- ・「アナイ」 季刊8万部 語源は「案内」
- ・「旅ムック」 季刊8万部 「ムック」とは臨時的などという意味で magazine と book の合成語
- ・「味の名店」 年間8～10万部
- ・「長崎写真コンクール とるけん長崎」 年間誌
- ・「長崎ランタンムック」 6万部

※グラバー園内パンフレット(年100万部)も手がけられています。

<生活情報誌>

- ・「長崎県の優良木造住宅の本」 年2回発行(書店販売)
- ・「E-cale」(イーカレ) 月刊3万部

※「旅ムック.com」の電子ブックでご覧になれます。

今では当たり前のフリーペーパーですが、発刊当時は、「本当にタダなの?」と不審がられたそうです。しかし、今では掲載店舗から「うちの営業部長は旅ムック」と言われる程、各方面に絶大なる支持を得られています。



井口さん(左)と会長(右)



会長は当初「飲み放題なら載せます。」と掲載店舗を募ったそうです。時価や不明朗会計が多かった当時、観光客に安心してもらうことが街の活性化に繋がるという信念からでした。

また、当時、料理は上から撮るとというのが常識だった中、馬刺しの盛り方の研究をされ、写真も横から撮り、料理をいかにおいしく見せるかということにもこだわられたそうです。

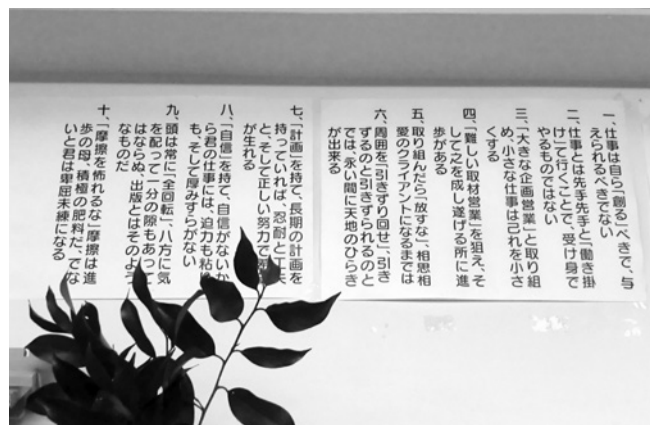
井口さんは長崎市出身で、10歳で熊本へ。2002年、エース出版(株)に入社。2007年、会長から「長崎でやらないか?」という誘いがあり戻っ

てみると、なんといきなり社長就任が待っていました。社長就任にあたり、掲載企業である（有）いろは 林さんの勧めもあり、まずは青年経営者会に体験入会。経営者としての勉強のためと2008年8月、同友会への入会を決意されました。

社長就任の不安と期待が膨らむ中、2009年「長崎夢プロジェクト」（長崎県の魅力向上につながる事業の全国公募）で優秀賞（補助金500万円）（最優秀賞該当なし）を受賞し、賞金総額1,000万円の第1回「長崎写真コンクールとるけん長崎」を開催されました。世界遺産登録推進&応援企画として今年は第6回目になり、本当に大きな地域貢献です。

また、長崎といえば、おくんち。昨年、八幡町（会長の実家）の弓矢八幡祝い船の根曳（ねびき）（船の曳き手）を務められたことはご存知の方も多いと思います。これも実にすばらしい地域貢献です。

エース出版長崎（株）は、社員数9名、パート1名。井口さんは、自分には会長の様な経験やアイデアがないからと謙遜されています。だからこそ同友会での学びを生かし、社員さん方の意見を尊重しながら経営者としての道を一步一步前進されているとのこと



朝礼で唱和する“エース出版の十訓”

す。また、お客様や読者の皆様から学ぶことが多いと述べられました。学んだことをお客様へ提案型営業を行うことで、それがまた自社・自分に戻ってくる。これが何よりの幸せだそうです。

長崎の観光産業を大いに支えている井口さん。これからも長崎の街の活性化と情報発信、そして同友会に力を発揮していただきたいと思います。

（文責 事務局 山田 幸司）

新入会員の皆さんです＜2月入会・復会・交代＞

（敬称略）

<入 会>

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	丸田 敦史	
企 業 名	（株）丸研特殊印刷	
役 職 名	営業（後継者）	
企 業 住 所	〒859-3722 東彼杵郡波佐見町岳田郷 446-3	
T E L	0956-85-4424	
F A X	0956-85-4337	
業 種	シール・ラベル印刷全般の企画・製作	
スポンサー	松尾 慶一	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	山田 朋子	
企 業 名	（株）やまびこ学苑	
役 職 名	取締役	
企 業 住 所	〒857-0027 佐世保市谷郷町 2-4	
T E L	0956-26-0707	
F A X	0956-26-0708	
業 種	障がい福祉	
スポンサー	堀地 充保	

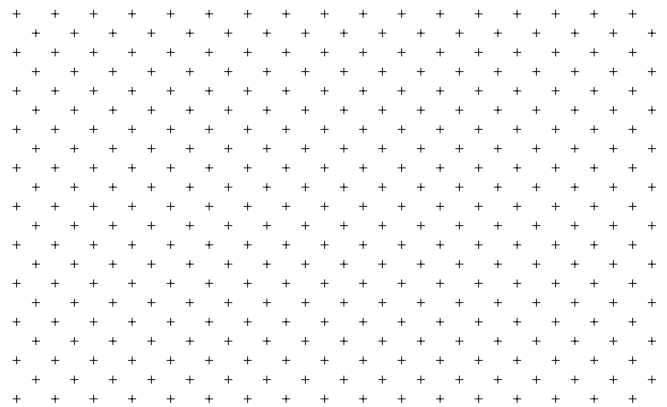
<復 会>

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	川村 誠	
企 業 名	スリーク	
役 職 名	代表	
企 業 住 所	〒857-0134 佐世保市瀬戸越 1 丁目 1570-305	
T E L	0956-88-7642	
F A X	0956-88-7642	
業 種	タイル、左官、エクステリア施工、販売店	
企 業 P R	住宅関連のタイル工事店です。お庭の改修、店舗改修、マンション等、タイル工事何でも対応致しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。	
スポンサー	川下 眞文	

支 部 名	北松浦支部	
氏 名	日高 雅之	
企 業 名	（有）西九州メンテナンス	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒859-4507 松浦市志佐町庄野免 184	
T E L	0956-73-4300	
F A X	0956-73-4302	
業 種	住宅設備、修理業	
スポンサー	稲沢 文員	

<交 代>

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	もり たかつぐ 森 貴嗣	
企 業 名	(株)アスク	
役 職 名	取締役部長	
企 業 住 所	〒857-0131 佐世保市大野町 42-3	
T E L	0956-76-8080	
F A X	0956-76-8081	
業 種	石、タイル、工事業、他住設販売業	
スポンサー	川下 眞文	



長崎同友会ホームページリンク集 会員企業掲載募集

長崎同友会のホームページ (<http://www.nagasaki.doyu.jp>) 内のリンク集がリニューアルし、会員企業のホームページをリンク集に掲載できるようになりました。

掲載方法は 2 種類あります。

- テキストリンクでの掲載
- バナーリンクでの掲載

(※会員企業 HP に長崎同友会 HP のバナーリンクをお願いいたします。また、会員企業のバナーには社名を必ず明記して下さい)

ホームページのリンク申請ページ

(<http://www.nagasaki.doyu.jp/request>)

より、ぜひお申込み下さい。お待ちしております。



広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
割引	3ヶ月	6,000→5,000

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

3月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 3月25日(水) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ — マ 「自立型の人材が育つ、たった二つのこと」
報 告 者 (株)マツモト 代表取締役
松本 一孝 会員

いい人材が欲しい。どの企業も考えることですが、中小企業に必要なことは「いい人材に育てること」です。自立型人材（自分で考えて行動する人材）を育てるために必要なこと。それは「伝達力」と「影響力」です。
「伝達力」伝わる力。伝えたと伝わるは違います。多くの会社は伝えているだけで部下には伝わっていません。さらに、人が言うことを聴きたくない「影響力」が必要です。
「影響力」を与えるために必要なキーマンとは？

●長崎支部 出島地区会

日 時 3月26日(木) 午後6時
会 場 サンプリエール
テ — マ 今期を振り返り来期にどう繋げるか？
報 告 者 役員一同

今期の例会を振り返り反省や来期について話し合う。
来期のグループ編成の発表を兼ねて顔合せ、
従来、5月に行っていたオリエンテーリング的な例会を期末に行い
5月から通常の例会がスタートできるように準備する。

●大村支部

日 時 3月19日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ — マ 今からはじめる守りの経営
報 告 者 弁護士法人 大村総合法律事務所
佐藤 敬弘 会員

弁護士の視点から見た「今からはじめる守りの経営」
ここまでは固めておくべき経営のディフェンスライン
弁護士法人 大村総合法律事務所の佐藤弁護士からの報告です。

●諫早支部

日 時 3月24日(火) 午後7時
会 場 未定
テ — マ 未定
報 告 者 (有)壽物産 代表取締役
永吉 誠 会員 (島原支部)

●島原支部

日 時 3月19日(木) 午後7時
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 『期待を超える！』
～ シンプルに考え、ベストを尽くす～
報 告 者 川上製麺 次期後継者 3代目 麵師
川上 貴弘 会員

家族経営3代目の甘ったれ麵師が結婚を境に仕事にのめり込んでゆく。
睡眠時間を削りネットショップを立ち上げ、休み返上でイベント出店、商品開発、各種商談参加など挑戦するも、詐欺まがいの取引を経験したりで売上は年々減少の一途。私生活でも修羅場…そんな日々嫌気が差した頃、地域活動や同友会に参加する中で、活発な後継者や経営者、アドバイザーに出会い奮起する。
社会人経験のない男が学び、挑戦し、そして思い描く今後の展望とは！？
他支部会員・ゲストを含め、多くの参加者をお待ちしております。皆さん一緒に学びましょう！！

●佐世保支部

日 時 未定
会 場 未定
テ — マ 未定
報 告 者 なかの人事労務事務所
中野 さとみ 会員

●北松浦支部

日 時 3月10日(火)
会 場 (株)愛しとーと (唐津)
テ — マ 未定
報 告 者 (株)愛しとーと 代表取締役
岩本 初恵 氏

●五島支部

日 時 3月17日(火) 午後6時30分
会 場 福祉保健センター
テ — マ 調整中
報 告 者 NPO法人 島の医療とくらしを考える会
和田 嘉毅 会員

●青年経営者会

日 時 3月21日(土) 午前10時
会 場 唐八景
内 容 春一番、ハタ揚げ大会

今年も毎年恒例のハタ揚げ大会を開催します。長崎の養護院の子どもたちを招待し、ハタ揚げを通じ、長崎の伝統文化に親しむ中で、親睦を深め楽しい1日をみんなで過ごしたいと思います。当日はトン汁、おにぎり、ハタまでついて盛りだくさんです。
ぜひ、ご参加のほどよろしくお願いします。

2月理事会 議事録 抜粋

2月5日（木） つくば倶楽部

杉本仲間づくり委員長総括

1月の例会の際に各支部・各地区会を仲間づくり委員会を中心に増強ウィークのキャラバンで訪問しました。入会見込者として浦上地区会3名、出島地区会3～4名、大村支部2名、諫早支部2名、島原支部2名、佐世保支部3名、北松浦支部2～3名、五島支部4名と聞いています。合計すると22名になり、560名に手が届きます。今期600名達成に向けて頑張りました。

協議・承認事項

1) 役員研修会・来期活動計画検討会について

- ・グループディスカッションテーマ「地域からあてにされる企業・同友会にするために役員としてどうあるべきですか？」
- ・式次第案、収支案
- 上記提案を承認

2) 2015年度に向けて

- 予算案について
 - ・全国大会補助費について、開催地までの距離に応じて補助費を変更するか
 - (三役会案)
 - 九州内…5,000円、本州・四国・沖縄…7,000円、北海道…10,000円を三役会案として提案
 - 三役会案を承認
 - ・フォーラム補助費増額と参加費減額について
 - (三役会案)
 - 来期は現状維持のまま予算配分予定とするが、フォーラムがどうあるべきか、学びの場としてのみとらえた懇親会のあり方(分科会のみのフォーラムにし、懇親会は地元で個別に開催という意見。逆に、年に1度であるため全体で懇親会は開催したほうがいい等の意見)も踏まえて引き続き三役で協議していく
 - 来期の予算配分は現状のままとし、中同協からの報告者を視野に入れて検討していただく。フォーラムを企画する中で別途予算が必要な場合は、随時理事会で協議する
 - ・企業連携について(長崎同友会独自のルールを検討する)
 - (三役会案)
 - 京都同友会の「ワンテーブル交流会」スタイルを提案。同友まつりのような一般顧客向けの展示会ではなく、あくまでも会員企業向けの事業紹介ブースを設け、その場限りの売り買いではなく、各会員企業の事業を互いに知り、販路、技術等ビジネスパートナーとして連携できるかという交流の場を設定。
 - 総じて、「連携」の意味についての協議は今回保留とし、上記の三役会案を承認
 - ・ダイバーシティ委員会について
 - 理事会としては時限的に中村こずえ会員が「女性部会」と「障がい者問題部会」をみていくという体制・方向性は承認。名称に関しては、三役会と中村こずえ会員と協議し、改めて3月理事会に上程
 - ・県理事について
 - (三役会案)
 - 来期から相談役理事を廃止することを提案(規約変更)。ただし、代表理事経験者は理事会の承認を得て相談役として在籍いただくため、随時必要な場合は相談する
 - 承認、総会にて上程。
 - ・第44回定時総会について
 - (三役会案)
 - 4月13日(月)、15日(水)、16日(木)のいずれかで提案
 - 記念講演者として広島同友会 求人社員教育委員長(株)EVENTOS代表取締役川中英章氏を推薦
 - 参加費を4,000円とし、議案書に関しては一口2,000円(30口)の名刺広告を募る
 - 三役会案を承認。議案書に関しては一口2,000円(30口)の名刺広告を募る。日程に関しては4月16日(木) 14時30分を第1希望とする
 - ・来期三役会、理事会スケジュール確認
 - 三役会・理事会スケジュールを確認。各支部で調整を行うことも確認

- 3) 名誉会員・功労会員の詳細について
- (三役会案)
- 三役会で再協議

4) 2017年中同協役員研修会について

- (三役会案)
- 2019年全研を成功させるためにも開催地として立候補することを提案
- 承認

5) 三役会の権限について

- (三役会案)
- 規約文章の変更を提案
- 相談役理事を削除した文章を承認。総会に上程

6) 理事選考規定について

- (三役会案)
- 規定文章の一部を変更することを提案
- 承認。総会に上程

7) 会外有料セミナーガイドラインについて

- (三役会案)
- ガイドライン案を提案
- 三役会案を承認、総会に上程。有料イベントやその他考えられるものに関しては情報広報委員会で協議する

8) 議案書内、規定・基準に「改廃は理事会で行う」文言追加および語尾を統一することについて

- (三役会案)
- 対象…慶弔規程、旅費・登録費支給規定、公職選挙及びその関連に対する姿勢と原則、e-doyu揭示版基準、広報誌広告掲載基準、ホームページ基準等
- 承認。総会に上程

9) 規約内、(復会)の文言変更および(変更)を追加することについて

- 資料⑧
- (三役会案)
- 添付資料を提案
- 承認。総会に上程

10) 2015年度 理事・役員(案) - 当日資料

- 当日資料を確認、新理事として青年経営者会会長を確認、2015年度理事・役員(案)を承認

11) 第21回経営フォーラム収支予算案 - 当日資料

- 当日資料として第21回経営フォーラムの収支予算案を提出
- 承認

報告・連絡事項

1) 賀詞交歓会について

賀詞交歓会 登録・出席

	長崎	(浦上)	(出島)	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
会 員 数	204	111	93	61	64	37	107	42	24	539
登 録 オブ	3	(1)	(2)					1		4
出 席 オブ	2	(1)	(1)					1		3
登 録 計	61	29	32	16	15	7	9	5	8	121
出 席 計	51	25	26	16	14	7	8	5	8	109

来賓 34名

- ※2月3日山田事務局員による来賓あいさつ回り実施
- 来期の賀詞交歓会開催を三役会にて協議

2) 1月9・10日(金・土)中同協新春幹事会参加報告(松尾代表、金井副代表、峰事務局員)

- (金井副代表より)2017年問題の話題が印象的だった。景気対策がいろいろとなされている中で、2017年に消費増税が実施される。しかしそれまでに景気が良くならなければ、金融機関も引き締め

- を行うことになり、中小企業にとって厳しい状況を迎えることになるのではないかと。
 (峰事務局員より) エネルギーシフトはエコノミーシフトであるという興味深い話を聞いた。詳細は広報誌を参照願います
- 3) 2月4・5日(水・木) 中同協4委員会参加報告(吉澤委員長)
 →中村こずえ会員が実践する経営が、同友会が目指す経営だと感じた。長崎においても共同求人が実施されるようになれば、さらに良くなるのではないのでしょうか
- 4) 2月16日松浦市条例策定記念講演について
 →2月16日松浦市条例策定記念講演の共催をする。拓殖大学の山本尚史教授に講演をいただく。興味のある方はぜひご参加を。また、松浦市では山本教授を振興会議の顧問として年に1～2度招く予定である
- 5) 2月20日(金) 中同協広報委員会 松尾代表事例報告について
 →松尾代表が事例報告を行うので、スケジュールが合う方はぜひ応援を
- 6) 県条例策定会議参加報告(町田委員長、峰事務局員)
 →4月1日施行に向け、大枠が固まっている。中小企業だけでなく小規模事業所にも向けた条例になっている。振興会議が設定されていないので、随時産業労働部との意見交換会を行う必要がある
- 7) 外形標準課税適用拡大反対署名について
 →九州・沖縄ブロックで調整中
- 8) 第21回経営フォーラムについて
 収支を承認
- 9) 3カ月間会費滞納者について→該当なし
- 10) 2019年 中小企業問題全国交流会(全研)について
 ニュー長…立食1,000名、椅子800名、分科会対応約5室
 ベストウェスタン…立食1,000名、椅子900名、分科会対応約6室
 ※中同協確認事項最大1,000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
- 11) その他
 ・森五島支部長より1月の報告
 →1月の例会は地元メンバーの報告で、とても興味深い内容でした。子供を育てること、企業を育てることをダブルで母親の気持ちが伝わる良い報告でした。これからも地元メンバーの報告が増える見込みで、3月にも予定しています。なかなか厳しい面もありますが、勉強しなければならないと感じています。例会にはオブザーバーの参加も増え、2月役員会では入会申込書も届くのではないのでしょうか
 ・諫早支部と長崎ウエスレヤン大学との合同ワークショップ開催について
 →2月27日に諫早支部とウエスレヤン大学で合同ワークショップを行います。午前は松田相談役が講演を行い、昼には学生と教員と交流を兼ねた昼食会、その後、教員とのワークショップを開催しますので興味がある方はぜひご参加ください。会費はかかりません。詳細はe-doyuの掲示板を確認下さい
 ・情報広報委員会より
 →e-doyuの掲示板の掲載基準を再来期に向けて検討しています。また、各支部例会の開始前に、広報誌に写真掲載する場合があるとの告知をしていないようですので、徹底をお願いします

- 決議事項確認
- ・2名の入会、2名の復会、1名の交代3名の退会を承認
 - ・役員研修会・来期活動計画検討会について、グループディスカッションテーマ「地域からあてにされる企業・同友会にするために役員としてどうあるべきですか?」、式次第案、収支案を承認。
 - ・予算案に関し全国大会補助費について三役会案を承認
 - ・予算案に関しフォーラム補助費増額と参加費減額について三役会案を承認。予算が必要な際には期中にその都度申請を行う
 - ・企業連携について三役会案を承認。
 - ・ダイバーシティ委員会について、理事会としては時限的に中村こずえ会員が「女性部会」と「障がい者問題部会」をみていくという体制・方向性は承認をする。名称に関しては、三役会と中村こずえさんと協議し、改めて3月理事会に上程する
 - ・県理事について、来期から相談役理事を廃止することの提案(規約変更)を承認、総会に上程する
 - ・第44回定時総会について、4月13日(月)、15日(水)、16日(木)の中で4月16日(木)14時30分を第1希望とする。記念講演者として広島同友会 求人社員教育委員長 (株)EVENTOS代表取締役 川中英章氏を推薦。参加費を4,000円とし、議案書に関しては一口2,000円(30口)の名刺広告を募ることを承認
 - ・名誉会員・功労会員の詳細について三役会で再協議
 - ・来期三役会、理事会スケジュールを確認。各支部で調整を行うことも確認
 - ・2017年中同協役員研修会について、2019年全研を成功させるためにも開催地として立候補することを承認
 - ・三役会の権限について、規約文章の変更を相談役理事を削除した文章で承認。総会に上程
 - ・理事選考規定について規定文章の一部を変更することを承認。総会に上程
 - ・会外有料セミナーガイドラインについて三役会案を承認、総会に上程。有料イベントやその他考えられるものに関しては情報広報委員会で協議する
 - ・議案書内、規定・基準に「改廃は理事会で行う」文言追加および語尾を統一すること(対象…慶弔規程、旅費・登録費支給規定、公職選挙及びその関連に対する姿勢と原則、e-doyu掲示版基準、広報誌広告掲載基準、ホームページ基準等)について承認。総会に上程
 - ・規約内、(復会)の文言変更および(変更)を追加することについて承認。総会に上程
 - ・2015年度 理事・役員(案)を承認
 - ・第21回経営フォーラム収支予算案を承認

次回日程…3月3日(火) 19:00～ つくば倶楽部

会員消息

会 員 数 (2月1日現在)

	長 崎	(浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五 島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	33	25	509
現在	200	109	91	61	64	37	108	42	24	536

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会員名	支部・地区会名	入会年月
(株)オオクラ	辻 村 崇	長 崎 浦 上	2014年8月
(株)ハウジングロビー	森 田 耕 平	長 崎 浦 上	2013年8月
(株)中嶋屋本店	中 嶋 美 暢	長 崎 出 島	1998年8月